

●トラック1:泣くショタあれば拾うギャル×2あり

●背景:公園(夕方)

(主人公が公園で泣いている)

(栞と華菜、遠くから近付いてくる)

◆栞

ボクく〜ん？ どうしたのー？

(主人公、顔を上げる)

◆華菜

うっわ！ 泣いてんじゃん。大丈夫？

なんかあった？ いじめ？ いじめ？

◆栞

教えてくれる〜？ 相談乗るよ？

(主人公「クラスでからかわれて……」)

◆華菜

からかわれた？ なんで？

(主人公「好きな子がバレちゃって……」)

◆栞

あら〜……好きな子かぁ。

◆華菜

好きな子バレただけでからかわれるの？

やばくない？ 普通のことなのに。

◆栞

私達からしたらそうだけど、この歳の子からしたらそーじゃないんだよ。

んー……可哀想だなあ。

◆華菜

自分でどうにかするしかないんじゃない？
うちらがその子らになにか言ってもだめだらうし。

◆栞

華菜あ……どうにかしてあげたいんだけど。

◆華菜

どうって……どうすんの？

◆栞

元気をあげるっていうか……一皮剥いてあげるのはどうかな？
いつもの私達的な感じでさ。

◆華菜

おー……この子に？
まあ、
可愛いからいいけど。
じゃあ、まずは――

(華菜からキス)

んむう……ちゅツ、ちゅ……んん、ちゅ、ちゅ、ぷちゅ、ちゅ……んん、ちゅ。
ぷはあ……♪
どう？ こーいう経験♪

◆栞

周りの子はね、きっとお子ちゃまなんだよ。
だからボク君がも～～と大人になって、みんなより強い子になっちゃえばさ？
そしたらからかわれても全然へっちゃらになるんだよ？

◆華菜

そういうこと。
大人はガキのしょーもない言葉なんか気にしないんだ。

ボクも、そうなっちゃえ♪
今、この瞬間からさ♪
と、いうことで？

◆栞

華菜？ そ、それはいいのかな？
大人になるって言っても……そこは……。

◆華菜

これくらいしなきゃダメだって♪
ただの包茎より経験ある包茎にしちゃえばいいんだよ♪

◆栞

ご、ごめんね？ 付き合ってたね？

◆華菜

これ、経験ある？
ふふ♪
お？ おっきくなってるね～？

◆栞

あら～……反応しちゃったの……？

◆華菜

栞、横からフォローお願い。

◆栞

うん。わかった……。
これで、どうかな？

◆華菜

アハハ……ボクう？ 顔真っ赤だよ？
さっきまで泣いてたのに……もう男の子になっちゃった？

◆栞

立派だね……お姉ちゃん達、エッチだから……、

元気な子、好きなんだよ？

◆華菜

そうそう。

はあああ♥

元気な子……めっちゃ好きだよ……♪

うちの大事なところが……めっちゃジンジンするからさ……♪

(主人公「だ、大事なところ？」)

◆栞

大事なところは……う、うーん。

なんて言えばいいかな？

◆華菜

おまんこ、だよ♪

◆栞

か、華菜……。それ言っているの？

◆華菜

大人の階段のぼんだからいーんだよ……♪

ボクう？ おまんこはねえ……このおちんちんを入れるとさ？

め～～ちゃくちゃ気持ちいいんだよ……♪

◆栞

ごめんねえ、ボク君……。

お姉ちゃん達、エッチで……。

◆華菜

エッチでいいよね？

ほら……お姉ちゃん達かも～っとエッチな気分になせちゃうぞ？

この声聞いて反応したら……キミはオスだ♪

んううう、はあっ、はあ……あん……んう。

◆栞

変な声でしょ？

でも……その声はね、女の子が気持ちいい時に出る声なの。

今のは……嘘の、だけど。

どうかな？ 聞いてて、ドキドキする？

(主人公「う、うん……」)

ふいふい。素直だね。

私も……頑張って聞かせちゃおうかな……。

んうう、はあ……はあ……う、んん、ん……ツ。

◆華菜

くっそエロいでしょ～？

んんう、はあ、はあ……ん、ん、このおちんちん入れたら、

はああ、ん、ん、この声、聞けるんだよ？

んううう、ん……。

◆栞

はあ、ふううう、ん……。

んく、ん、ん……ほかの子はきっと、この声聞いたことないよね。

ふうう。

◆華菜

んはああ……♡

そういうこと♪ キミはもう、ほかの子より大人だよ♪

好きな子がいるって時点で立派だし……ん、ンツ、

もう最高だね……♪

◆栞

フフフ……ん、ん、ちんちん、苦しそうだね？

◆華菜

そうだね～……んん、ん。

じゃ、そろそろ……ほんとのエッチを、経験してみよっか？

◆栞

はああああ……。

◆華菜

ふう～～……。

んじゃ……脱がすよ？

おちんちん、見せて♪

=====

●トラック2:ショタを抜くギャルお姉ちゃんズのダブルペロ

●背景:公園(夕方)

(トラック1の続き)

(主人公は下半身パンツのみ)

◆華菜

いくよ？

◆栞

んう……恥ずかしいよね？

でも……経験重ねて、大人にならなくちゃ。

◆華菜

お～？

ビンビンだね～？

◆栞

ほんとだ～……。

ボク君、すごいね～♪

女の子にちゃんと反応して、ちんちんムキムキになれるんだね♪

◆華菜

おちんちん……どうしょっか？

どうしたい？

じゃあ——
舐めてみよっか？
おちんちん♪

◆葉
舐めるの？

◆華菜
こっち来いって。
二人で舐めれば気持ちよくしてあげられるじゃん。

◆葉
仕方ないな～……。

◆華菜
まずはおちんちんの皮を剥いてみよっか？
いくよ？

◆葉
せーのっ。

◆華菜
せーのっ。

(包茎を剥く)

◆葉
すごーい……♪
ちんちん、剥けちゃったよ～？

◆華菜
わ～……龟头丸見えだね～♪
おちんちん剥けたね～？ ズル剥けたよ？
どう？ これ、初めて見たんじゃない？

◆葉

これはね？ 亀頭っていうの。

皮をちゃんと剥いてあげないと……これから出るものが皮の中に溜まって、この綺麗なピンク色の頭がね？ 汚れちゃうの。

◆華菜

そう。

そういうこと。

ちなみにその出るものってゆーのはあ——

(華菜、亀頭を舐める)

れろッ。

(主人公、痙攣する)

アハハ♪ めっちゃ反応しちゃったね～？

◆栞

気持ちよかったね♪

女の子に舐められてちゃんと気持ちいいって感じるのは素敵なことだよ～♪
誇ろうね♪

◆華菜

ちな……うちらこーいうのいっぱい経験あるから舐められっけど、
ほかの子にはしてもらおうとしちゃダメだよ～？

◆栞

お姉ちゃん達との約束だよ～？

◆華菜

れろ……れろ……ちゅ、ちゅ……。

マジで、舐めてくから……れろ、れろ、

たくさん感じてね～？

れろ、れろ……れろ……。

◆栞

見て？

華菜お姉ちゃんがちんちん舐めてるよ？

すごいね？ おしっこするところ舐めてるよ？

ふふ。気持ちいいよね？

それは悪いことじゃないから、遠慮しないでいいの。

気持ちいいのは気持ちいいって、素直に認めちゃお？

◆華菜

れろ、れろ、ちゅうう……んん、ちゅ。

菜も舐めなよ？

ちゅる、ちゅ。

◆菜

うん……お姉ちゃんも舐めるね？

れろ、れろ……—

◆華菜

れろ、れろ、んむ、ちゅん、ちゅ……ちゅう、チュツ。

んぷ、ちゅ……れろ、れろ……んむん、ちゅ……。

すごいことだよ？

女二人におちんちん舐められるなんて、一生に一度ある人のが珍しいし♪

れろ、れろッ、これ、一生誇れるよ～？

◆菜

れろ、ちゅ、ちゅう、ほんとだね。

ちゅ、ちゅ……れろ、れろ……中々経験できることじゃないよ～？

◆華菜

ちゅんん、ちゅ……んむん、ちゅ……ふうう、んく、ちゅ。

今でも気持ちいいと思うけど……ちゅん、ちゅ、

もっとすごいこともしてあげよっか？

ちゅる、ちゅう、ちゅうう。

◆菜

れろ、れろ、ちゅん、ちゅ……んむ、ちゅ。

なにをするの？

ちゅ、ちゅう。

◆華菜

啞えんの♪

ちゅ、ちゅう、いくよ？

ぢゅううううう、ヂュツ。

◆栞

ちゅ、ちゅ……わ～。

見て？ 華菜お姉ちゃんがちんちん啞えてるよ？ すごいね～。

栞お姉ちゃんも啞えるよ？

感じてね？

あむうんんんんツツ。

◆華菜

ちゅむく、ぢゅ、ぢゅる、ヂュツ。

気持ちいい？ ぢゅる、ぢゅ、いいでしょ？

自分のおちんちんを、啞えてもらうってさ♪

ぢゅむううう、ぢゅ。

◆栞

ぢゅ、ぢゅ……ズズ、ぢゅ、ふふ。

たくさん感じてるの、伝わってくるよ……♪

ぢゅぷ、ぢゅ……いつでも出していいからね♪

(主人公「で、出そう……」)

◆華菜

んぷ、ちゅう、ヂュツ。

出る？ ぢゅる、ぢゅ、ボク、射精したことある？

ちゅう、ぢゅツ。

(主人公「ない、です」)

◆栞

あら～……初めてなんだ♪
ぢゅる、ぢゅ、その初めて……貰っちゃおつか♪
ぢゅう～～～～ツ。

◆華菜
出していいよ～♪
ぢゅる、んむうう、ぢゅ、ぶっかけて？
ぢゅ、ぢゅん、チュツ、ボクの精液……顔にちょーだい♪

◆栞
ぢゅぷう、ぢゅんん、チュツ！
出して♪ ぢゅんう～～～～ツ、チュツ！

◆華菜
いくよ栞。

◆栞
せーの。

◆華菜
ぢゅう～～～～～～～～ツツ！

◆栞
ぢゅずう～～～～～～～～ツツ！

(ぶっかけ射精)

◆華菜
んううううツ！

◆栞
ひゃんツ！

◆華菜
あ～……いいねえ。
アハハ。大量……♪

◆栞

はあ……すごい……♪

いっぱい出たね……♪

これが精液だよ♪

ボク君のタマタマの中には、こんなにエッチな体液が詰まっててね？

気持ちよ～くなっちゃうと、ぴゅっぴゅしちゃうの♪

(主人公「おしっこ？」)

◆華菜

ううん、おしっこじゃないよ～。

赤ちゃん作る時に大事なもんなんだよコレ？

あ、栞？

顔に精液ついてんじゃん。

舐めていい？

◆栞

舐めるの？ いーけどお——

◆華菜

いただきまーす♪

◆栞

んう……ふう、ん………。

くすぐった～い……んう………ツ。

◆華菜

れろ、れろ……ちゅう～～～～ツ。

ぷはあ……これくらいでいいかな～。

◆栞

私も舐めるよ？

◆華菜

う………ツ。

アハハ……珍しいじゃーん……んく！ う～……。
アソコも舐めて～？

◆栞
やーだ。

◆華菜
ちえ～……んく、ん……めっちゃ濡れてんのに～。

◆栞
ふう～……終わったよ？
ごめんね？ ほったらかしにしちゃって。

◆華菜
ごめんね？ でもちんちんは元気だね～♪
ね？ これ……もっと気持ちよくなろっか♪

◆栞
私も付き合うよ～♪
もっと、シコシコしようね♪

=====

●トラック3:ギャルお姉ちゃんズのダブルおっぱいシコシコ

●背景:公園(夕方)

(トラック2の続き)

◆栞
次は……おっぱい？

◆華菜
そうそうおっぱい♪

◆栞

あ〜……華菜お姉ちゃんがおっぱい出し始めたよ〜？
ボク君のちんちんをね？
おっぱいでシコシコしたいんだってさ〜♪

◆華菜

おー……栞お姉ちゃんも脱ぎ出したぞ〜？
綺麗なおっぱいだよ？ ボク、見られて嬉しいね♪
あ、じゃあ挟みやすいように——
こっちに——
移動するね〜。

◆栞

ブラジャー自体、初めて見たんじゃないかな？

◆華菜

じゃ、同時にブラおろしちゃうか？

◆栞

そうだね〜。

◆華菜

せーのっ。

◆栞

せーのっ。

◆華菜

どーん♪

◆栞

じゃーん♪

◆華菜

これがうちらのおっぱいだよ〜？

◆栞

ふい♪

私がGで、華菜お姉ちゃんがI♪

クラスの女の子達よりだいぶおっきいでしょ～♪

◆華菜

このデカパイ達で挟んであげる♪

よかったね？ ボク、勝ち組だよ？

◆栞

んう……挟もっか♪

(谷間に挟む)

◆華菜

ふう～～～～♡

◆栞

はああああ……♡

◆華菜

んう……精液でヌルヌルのおちんちん……最高に熱いね～……♡

◆栞

お姉ちゃん達のおっぱいの中……どう？

柔らかくて……幸せな気分でしょ～？

でも……もっと幸せにしてあげるよ♪

◆華菜

ふうう～……んうううう、ん♡

◆栞

はあ～……熱いねえ……♡

◆華菜

どう？ むにむにおっぱいに埋もれてるおちんちん……、

幸せそうじゃない？

んう、ん……ふううう、ん……めいっぱい浸っていいからねえ～♪

◆栞

シコシコされてるね～？

んんう、ん、柔らかいおっぱいの中に、ん、ん、

ボク君のちんちん……隠れちゃったよ～？

ふうう、ん、ん。

◆華菜

ふうう、ん、んううう、ん。

隠れたおちんちん……さっきの精液だけじゃないね～……。

んん、ん、なんか、ヌルヌルするぞ～？

◆栞

ふう、んん、ん……もうお漏らししちゃった～？

ふふっ、透明なおつゆが漏れたんだね～。

(主人公「おつゆってなに？」)

◆華菜

あ～……知らないのか～。

興奮するとねえ？ んん、ん、おちんちんのさきっちょから、

透明なおつゆが出んの……♪

ふううう。ん。

◆栞

んう。

我慢汁っていうの……♪

ヌルヌルでエッチな匂いがして……ん、私達みたいなエッチなお姉さんはね？

この匂いを嗅ぐと……ムラムラしちゃうの……♪

ふううう。

◆華菜

あんま余裕ないかな？

ちょいペースあげて……激しいのも体験しちゃうおっか？

◆栞

んはあ〜〜〜……っ♡

◆華菜

んああ……っ♡

◆栞

頑張ってね〜♪

簡単にぴゅっぴゅしないように……耐えてみて？

そしたらきっと……も〜〜〜っ気持ちよくなれるよ〜♪

◆華菜

だいじょーぶ♪

んう、んっ、ボクなら耐えられるよね〜♪

んんう、ん。

◆栞

んん、ンツ、もう一回射精経験したんだもん。

ほかの子よりも立派で……ほかの子よりも大人♪

ボク君は、んん、ンツ、このくらい、へっちゃらなんだよ……♪

頑張って♪

◆華菜

ふう、ふう……ん、ん……。

さすがに……キツいかな？

んうう、ん。

◆栞

それじゃあ……ん、ん……。

◆華菜

とめちゃおっか？

◆栞

止めちゃうね〜♪

◆華菜

もうちょっとシコシコしたいから、
あえて焦らしちゃうね～。

(主人公「ううう……ッ」)

◆栞

どうしたの？ どうしたの？
つらい？ ごめんね？ でも、我慢したかも～～っと気持ちよく出せるよ～♪

◆華菜

ほらほら～？ おしっこも我慢した後「ふう～～」ってスッキリしながら出んじゃん？
あの感じだよ♪

◆栞

でも、そろそろ……。

(全アドリブ再開)

◆華菜

再開しちゃおっか～♪

◆栞

んう、ふう……んん、ん……♪
頑張って耐えてるね～♪
偉いよ♪ 誰にでもできることじゃないんだから♪

◆華菜

マジでそれだよね～。
すぐに出そーと思えば出せたのに、
ちゃんとお姉ちゃん達に付き合っ……偉いよほんと♪
頑張って耐えてくれてありがと♪
んう。

◆栞

お礼に……んん、ん……めいっぱい、気持ちよくしてあげるね～♪
いくよ？

◆華菜

ふはああああ♡

◆栞

んう～～～っ♡

◆華菜

んう、さあ、我慢した分、ん、ん、たくさん、出そう♪
ふう、ふう。

◆栞

んんうう、はあ、はあ……。
いっぱい出そうね～……♪
ちんちんスツキリして……んん、んっ、今日の悲しい気持ち、全部流そう♪

◆華菜

イカセちゃうぞ～♪
ほら、出して♪

◆栞

出して♪

◆華菜

イカせるよ～♪

◆栞

出してえ～～～～♪

◆華菜

イッてえ～～～～♪

(ぶっかけ射精)

◆栞

ひゃあッ！ アッ、すごい……ッ！

◆華菜

わあ！ あ～……あ……大量じゃん……♪

◆栞

はああ……あ～……

どくどくしてるねえ……♡

ボク君……すごい♪ こんなに出せるんだね～……♪

お姉ちゃん、ドキドキしちゃった……♡

◆華菜

はあ～……やばいねえ……♡

んう、ん……気持ちよすぎ……♡

はあ～～～……んう、ん……♡

どうだった？

また、お姉ちゃん達に会いたくなったら連絡してよ。

◆栞

そうだね～。

連絡先教えとくね？

今の子ならスマホくらい持ってるでしょ～？

◆華菜

次会う時は……も～～っと楽しいことしようね……♪

=====

●トラック4:野外で童貞喪失！～ツインテギャルにショタっ子立ちバック～

●背景:公園(夕方)

(ヒロインら、すでに公園のベンチ前にいる)

(主人公、遅れて公園に来る)

◆華菜

あ、来た来たー。

◆栞

おい。こっちだよ～～。

(ヒロインらの前で足を止める)

◆華菜

元気？ まさか連絡くれるなんて思わなくてびくったよ～。

◆栞

ほんとだよ～。

お姉ちゃん達にキョーミシンシンになっちゃった？

(主人公、ドギマギする)

◆華菜

アハハ♪ めっちゃ赤くなってる～。

可愛い♪

なにしょっか？ あ、よかったら入れちゃう？

おちんちん

◆栞

嘘？ 入るの？

◆華菜

うん。だって自分から来たんだよ？

キョーミあるっていいことだと思うし～……いまの内に覚えちゃおーよ。

◆栞

そうだけど～……。

◆華菜

いいんじゃないね？
この子も勃ってんだからさ。
ベンチに手えつくよ？
立ちパで童貞貰うね～♪

(華菜、お尻を突き出す)

◆栞
もう……仕方がないなあ。
サポートするね～♪
脱ご？ ちんちん出しちゃお～♪

◆華菜
来て来て～？

◆栞
パンツも脱いでね～？
大丈夫。
ここ、誰もこないからさ。

(主人公、下半身裸)

◆華菜
早く～。

◆栞
焦らないの。
ほら、ボク君があのお姉ちゃんのパンツ、膝までおろすんだよ？
やってみて？

◆栞
スカートめくって……。
そうそう。そのパンツ……スーって。

◆華菜
あーん。恥ずかしいよ～。

◆栞

嘘つくな～。めっちゃ糸引いてるよ笑

◆華菜

入れて？

んう、ん……閉じたおまんこ、キミのおちんちんでこじ開けるんだよ～？

ふう……ふう……ん、んうう、ん。

はあ～……ん、んう、熱いの当たってる～……♪

ん、んう、ん、ふう、んん、ん……気持ちい♪

来てえ……んん、んう、ん……♪

◆栞

さあ——

ふう～～～～……。

ココに、入れるんだよ？

ココ……♪

そう、そのまま……腰、押しつけてみて？

せーの♪

◆華菜

んうううう……ツ♥

(根元まで挿入)

◆栞

おめでとう……♪

童貞卒業したね……♪

◆華菜

はあ、はあ……ツ！

あ～……童貞卒業、おめでとお……♪

ボク……すごいねえ♪ 初めてを捨てちゃったねえ……♪

もう、立派な大人だよ～……♪

ふう、ふう……ん、んう……さあ、一気に、求めちゃってね～……♪

ふう、んん、ん……はあ……ん、ん、んう……おまんこ、満たして～♪
あつ……あ～……ふう、ん、シコシコ、気持ちいい～？
ふう、んん、んツ、頑張って、いっぱい気持ちよくなってね～……♪
ふう、ん、んう。

◆栞

初めて腰振ったんだよね？
よくできてるよ♪
ふふ。これがエッチ♪
ボク君……女の子を感じさせてるんだよ♪

そのまま腰を動かして……シコ、シコ、シコ、シコ……♪
ボク君のちんちんで、華菜お姉ちゃんのおまんこ、気持ちよくさせなくちゃ……♪

◆華菜

はあ、はあ……。
んう、んっ、ねえ？ 栞い？ サポートしてえ♪
もっとおちんちんガチガチにしてあげて～♪
ふう、ふう。

◆栞

サポート……。あ、じゃあ——

(主人公の衣服越しに乳首を責める)

これ、どうかな？
ふふ。男の子もね？ おっぱい感じるんだよ？

◆華菜

はあ、はあ……ん、んう。
ふう、んん、ん……はああ……ん、んうう……。
めっちゃびくんびくんしてる～♪

ふう、んん、んっ……ふう、ん、ん……ツ。
はあああつ、ん……んん、ん……ツ♪
いいおちんちんしてるね～♪

◆栞

びくびくしてるんだって……♪

よかったね～……♪

華菜お姉ちゃんのおまんこ……たくさん刺激してる……♪

◆華菜

ふう、んん、ん……、ん……。

キミ、めっちゃいい大人だよ～♪

ふう、ん、んう、はあ、はあ……こんな気持ちいいことできて、

はあ、ん、ンツ、きっと好きな子とも、ん、ん、

いいエッチできると思うよ～♪

んん、んう。

◆栞

ふうううううう。

ペース、あげてみよっか？

できるかな？

(主人公「で、出ちゃったら……」)

ふい。出ちゃっても平気だよ。

大丈夫。腰を振って？

◆華菜

はあああああ……♪

んうう、んツ、ふう、んん、ん……ツ。

んっ、はあ、はあ……んんく、ん、んうう、ん……っ。

いいね～♪

いっぱい腰振って、はあ、はあ、ん、んう、気持ちよくしてくれてるね～♪

んん、んく、んん、ン、ふう、ん、ん……♪

◆栞

いっぱい感じてるよ？

頑張っ♪ 頑張っ♪

お姉ちゃんも……乳首こすこすしながら……、
ん、んう、ん……たくさん、気持ちよくしてあげるからね……♪

◆華菜

あ～……ん、ん、おちんちん、パンパンになってる♪
ふう、ん、ん……はあ、はあ、んんんく、ん、ん……。
ふう、んん、んくん、んう、ん……あ～、気持ちいい～♪

(主人公「だ、ダメ……出ちゃう……ッ」)

ん？ 出る？

◆栞

どうしよう？
お尻にかけちゃう？

◆華菜

んう、ん、ん、ふうう、ん、ん……。
いや、中出していーよ♪
ふうう、んん、ん……ん、ん……はあ、はあ……ん、ん。

◆栞

な、中？ 大丈夫なの？

◆華菜

へーきい♪
んん、んう、ふう、ん……中出していーよ♪
経験しちゃお～♪

◆栞

で、でも……ッ！

◆華菜

いいからあ♪
出してえ♪
種付けだよお♪

あああああッ♪
来てえ~~~~♪

(主人公のみ絶頂(中出し))

あああああ……ッ。
んうッ！ あっ、あ……はあ、はあ……♥
出ちゃったね……んんく、んん、ん、びゅくびゅく出てる……♥

◆栞
うわあ……こ、こんなちっちゃい子に……？

◆華菜
ふう……♪
気持ちよかったあ……♪
射精経験ないからかな……めっちゃ勢いよく出てくんねえ……♪

◆栞
なんか罪悪感……。

◆華菜
気持ちよけりゃいいんだって♪
それより、栞もどう？
これ、めっちゃ気持ちいいから♪

=====

●トラック5:対面座位で野外えっち

●背景:公園(夕方)

(トラック4の続き)
(華菜に立ちバックで中出し後)

◆華菜

んはあ～～……♪

気持ち～～……んう、ん……♪

さ、

こうた～い。

どうする？

◆栞

座って？ 私、動きたくなっちゃった。

ありがと～。

（栞、対面座位の形で跨がる）

いいよね？

お姉ちゃん……この――

ヌルヌルのちんちん……、

エッチに、求めちゃうよ……♥

ふう、んう、入れるね？

はあああ～～……♥

（根元まで挿入）

ん……っ！

ふうう、ん……すごいねえ……♥

あっという間に、経験二人になっちゃったね～……♥

（華菜、移動しながら隣に座る）

ふう、ふう……んん、ん……。

はああ、ん、んう……。

動くね……♥

◆華菜

魅せられちゃった～♪

うん、しょ♪

◆葉

んうう、ん、ふう……んん、ん……。
はあ、はあ……ん、ん……気持ちい……♪
うん、んう……ん、ん……はあ～……華菜に出したのに、
ふうう、ん、もうこんなカチカチになって……、
ふう、ん、んう、
ボク君のちんちん……
サイキョーだね～……♥

◆華菜

うちぬきで盛り上がりすぎじゃな～い？
ふふ♪ めっちゃ楽しそうじゃん♪
いいね♪ もっとガンガン喘いじゃえ♪
うちも～——

(華菜、耳舐め開始)

っれろ、れろ、ちゅ、ちゅう、ちゅ。
耳舐めて、ピンピンにしてあげる♪

◆葉

んう、んツ、ふう、ふう、んん、ンツ。
あ～……さっき華菜が言ってた、反応……んん、ん、
すごいわかる……♪
はあ、はあ……ツ。

ん、ンツ、元気なちんちんが、ん、ンツ、お姉ちゃんのおまんこの中で、
いっぱいになるの、幸せだね～……♥
ふう、ふう、ん、んう、すごいねえ♪
ボク君……お姉さん二人も連続でさ？
はあ、はあ、ん、んう、ムラムラさせちゃってるんだよ～……♥

ふう、ふう、んん、んう。
我慢できなくなっちゃうのは、ん、ん、ボク君のせい……ツ♥
ふう、んん、んう、責任、取らせちゃう♥
んむううう、チュツ、ちゅうう、チュツ！

◆華菜

れろ、れろ……ちゅううう、んんん、チュツ！
気持ちいい？ れろ、れろ……んん、ちゅツ。
ちゃんと、葉お姉ちゃんと舌を交えなきゃダメだよ～？
ふい♪
ちゅむう、ちゅ。

◆葉

ふう、んんむ、ちゅ、ちゅう。
んう、ん、ちゅ、ちゅ……あぁっ、気持ちいい♡
んむ、ちゅ、ちゅん、ちゅ……ふう、ん、んう。
露骨に反応してくれて、んん、んむ、ちゅ、ほんと、気持ちいい……♡
ちゅう、んんむ、んツ。

◆華菜

この子、ヤリチンになれるよ絶対……♪
ちゅる、ちゅん、ちゅ、んむ、ちゅん、ちゅ。
ヤリまくって、ドスケベのエリート街道歩かせちゃう？
ちゅ、ちゅう。

◆葉

ちゅうん、ちゅ、ダーメ。
んう、ちゅ、可愛い子は、可愛いままでいなくちゃ。
んんむ、んう～～～ツ。
ぷはぁっ、はぁ、はぁっ。
んうう、しょ……。

はぁ、はぁ……ん、んく、ん……。
ペース、あげちゃうね？
ん、んう、ボク君が気持ちよくしちゃうから、
ん、んう、お姉ちゃんのムラムラ、止まらなくなっちゃった……♡
はぁっ、はぁっ、せーのっ♪

んう～～……ツ。
ふう、んん、ん、ふう、ふう、んん、ん……ツ。

んツ、んん、んっ、はあ、はあ……んん、ん……ツ！
いいよ～♪ ボク君の、いいところにいっぱい当たるよ～♪
はあ、はあ、んん、んっ。
もっともっと、刺激しなくちゃツ。

(葉、耳舐め開始)

れろれろ、んん、アツ、んんむ、チュツ！
ふう、んんむ、ちゅ、あつ、う、んんん、ちゅ、んん、チュツ！

◆華菜

ふう、ふうう、んん、ンツ。
めっちゃエロい音聞かされて……うちのおまんこ、疼いてくる♥
んむう、ちゅん、ちゅ、チュツ。
さっき中出しされたおまんこ……、
もう一回入れたくない？
ちゅん、ちゅ。

◆葉

ちゅむ、ちゅうん、ちゅ、ダメだよ？
ちゅう～……んんん、チュツ、お姉ちゃんが独占するんだから♥
んむう、ちゅんん、チュツ。
はあつ、んんむ、ちゅっ。

◆華菜

んむ、ちゅん、ちゅ……ふう、んんむ、チュツ。
んん、チュツ、チュツ。
欲しいのにな～。
んむ、ちゅ、チュツ。ふう、んむ、ちゅ。
ま、公園でムラつきまくってもしよーがないしね。
ちゅ、ちゅんうう、チュツ。
最後までやりきっちゃえ。

◆葉

うん♪ そーする♪
ふう、んむ、ちゅん、チュツ……んん、チュツ。

ふう、んん、ちゅ、ちゅん、ちゅ……ん、チュツ！
ほら、んむ、ちゅ、ちゅく～～ツ、ちゅ、
ボク君、遠慮しないでさ、はあ、んんむ、ちゅ、
お姉ちゃん達のおっぱい、揉んでいいんだよ？

んむ、んん、ふく、んん、ん……ツ。
ちゅうんん、ちゅ……ふう、ふう……っ！
ああ、んむ、んん、チュツ！
はあ、はあ、う、んん、ちゅ……あんん、ちゅん、ちゅ……ツ！

(主人公、栞と華菜の胸を揉む)

◆華菜

ふう、ん、んんう、ん。
いいね～……んん、ん、もみもみありがと～♪
んん、んっ、お姉ちゃん達のおっぱい、いいでしょ？

◆栞

ふう、ふく、んんむ、チュ、アツ、んう、ん。
ふう、んん、ンツ、気持ちいいね～……♥
んん、ちゅ、あつ、んん、チュツ、乳首、勃起てきちゃった……♥
はあ、はあ……んんう、ふう……んん、ん……♥

◆栞

ふう、ん、ちゅう～～～チュツ。
ムラムラする、んんん、ちゅ、ん、ちゅ……ツ、
一気に、しちゃっていい？

ふう、ふう、んむ、おっぱい揉んだのボク君なんだから、
ふう、んむ、ちゅ、ちゅううう、チュツ、
責任、取らないとね♥
ふう、んむ、ちゅ、いくよ～？

うんう～～～～～ツツ！
はあ、はあ、んんう、んうう、ンツ！
ふう、ああつ、気持ちいい……ツ♥

んんん、んっ！

◆華菜

んむ、ちゅう、ちゅ、ふう、ふう。

んむ、ちゅ……んんん、チュツ、れろ、れろ、んん、ちゅ……ツ！

ふう、んん、ちゅ……ツ、おまんこのくちゅくちゅ……いい音だね～。

ふう、ふう……。

そろそろ、イクんじゃない？

◆葉

んう、んん、ふう、んん、ん。

はあ、はあ、んん、んく、ん……ツ。

うんっ、イクよ……♡

はあっ、はあっ、ん、んう。

一緒にいいこうね～♡

ふう、ん、ンツ、んっ、もちろん、中に出してくれるよね？

◆華菜

ちゅう、あれ～？ さっきは抵抗あったのに～？笑

◆葉

ふう、ん、んう、だって～……ん、んく、

ムラムラしてきたら、んん、ん、我慢、できなくなってきた……♡

ふく、ふく、ん、出して♡

んううツ、んん、んっ、華菜お姉ちゃんとお揃いにして？

んんう～～っ、んっ、中出し、大歓迎だよ……ツ♡

あああああッ、来て来て来て～♡

ボク君の精液っ、欲しがってるお姉ちゃんがいるよ～……♡

んううううツ、んん、ん……ツツ♡

あああああああああッツ♡

◆華菜

出しちゃう？ 出しちゃう？

いいよ♡ 出しちゃえば♡

(同時絶頂(中出し))

◆葉

んうう~~~~~ツツ！

あつ！ ああつ、んう〜……んんう、んツツ！

ふう、ふう、あつ！ んう〜、んん、ん……ツ！

気持ちい……んん、ん……ツ。

◆華菜

あ〜、出ちゃった♡

ボクう？ すごいねえ？ 二人目だよ？

人生一度でも中出しできれば勝ち組なのに……キミ、

もう二人目♡

◆葉

んう、ふう……ん、んく、ん……。

んう、ん、ん……ン……ふう、んん、ん……。

あ〜……公園じゃなかったら、もっと喘いでたかも……♡

はあ、はあ……んう、ん……んうう。

ふう……んう、んん、ん……ふううう、ん、んう、ん……。

んう、んん、ん……ん……。

◆華菜

よかったっしょ♪

また用があったら呼んで♪

次は家でやろーよ♪

◆葉

そうだね〜……。

次は、おうち……♡

おうちでのエッチを経験して……もっと、女の子を知ってみようね……♡

=====

●トラック6:ショタを連れ込み部屋でダブル授乳コキ

●背景:華菜の部屋(夕方)

(トラック5から数日後)

(主人公、ベッドに座る。華菜と栞は隣にいる)

◆華菜

いらっしゃ〜い。

どう？ 女の子の部屋は初めて？

◆栞

華菜、意外と片付け上手なんだよ？

部屋綺麗でしょ〜？

◆華菜

意外ってなんだよー。

◆栞

この部屋で何人のちんちんしゃぶったと思う？

◆華菜

ちょっと〜。

男の子はそーいう話で萎え散らかすんだからダメ。

◆栞

でも勃ってるよ？

◆華菜

え？ マジか♪

◆栞

フッフ。さっそく……しちゃう？

ボク君も、そのつもりだもんね〜♪

(栞と華菜、主人公に胸を出す位置に)

◆華菜

今日はおっぱいにしようって、栞と話してたんだよね～♪

◆栞

見せてあげるね♪

◆華菜

制服から零れるおっぱい……サイコーでしょ？

◆栞

じかに見せてあげる♪

◆華菜

じゃーん。

◆栞

ほ～ら。

◆華菜

おっぱいは初めて見たっけ～？

乳首に自信ないけど——

吸い応えあると思う♪

◆栞

フフ。吸って？

(主人公、二人の胸を吸う)

◆華菜

あっ。

◆栞

あんっ。

吸ってくれてありがと〜……♡

んんう、ん、いっぱいチューチューして、んん、ん、
味わってね〜……♪

◆華菜

んん、ん、ふく、ん、ん。

じゃ……ずっと丸出しにしてくれてるそのおちんちん……、
シコっちゃうね〜……♡

◆葉

ふううう、んん、ん……ん、ん……。

はあ、んん、んう、ん……ふう、ん、ん……。

あれ〜……？

ちんちん……こないだより大きい？

◆華菜

んう、ん、アハハ♪

そんな簡単にサイズ変わるわけないっしょ笑

んう、ん、ふう、ん、ん……。

でも……ん、んく、ん、今日は、やたらビンビン……♡

◆葉

ふう、ん、ん……気持ちいいよ〜♡

ん、ん……私も、いっぱい気持ちよくしちゃうよ……♡

ん、んう、ん……ふう、ん、ん……ふう。

だから、ん、ん……ふううう、んん、ん……んん、ん……。

ふう、ん、ん……出したい時は出していいんだよ〜。

◆華菜

んう、ん……ふう、ん……。

んく、ん……おちんちんはどう？

ふう、ん、ん……イキたくなる？

(主人公「う、うん」)

◆葉

んう、ん……イキそう？
んう、そういえば……前ヤツてから、
ちょっと間空いちゃったもんね～。

◆華菜

ふう、ん、んう、うちらが抜かない日はどーしてるの？
んん、ん……つふうう、ん……ん、んん。
シコったりしないの～？

(主人公「恥ずかしくて……」)

◆栞

ふう、ふう、ん、ん……。
ふふ♪ 恥ずかしくてしないの～？
あ～……可愛い♥
んく、んう、おまんこ経験してるのに、自分でシコシコは恥ずかしいんだ～？

◆華菜

ふう、ん、ん……。
じゃ、今日はいっぱい出しちゃいなよ♪
うちらが出してあげるからさ♪

◆栞

ふう～……んん、ん。
ふふ、もっとチューチューしていいんだよ？
遠慮しないの♥

◆華菜

ふう、ん、んう。
てか、震えすごいよ？
もう出ちゃう感じ？

◆栞

ふふ……いいんだよ？
早漏なんて、気にしなくていいんだから。

◆華菜

でも～。

アハハ♪

焦らしたくなっちゃう～……♪

◆栞

か、可哀想だよ！

◆華菜

いいじゃん笑

おちんちんパンパンになるよこれ♪

(主人公「出したいよお」)

◆栞

ほら、出したいって言ってる。

◆華菜

アハハ♪ しょーがないな～。

これでどうかな？

◆栞

ふう、ん、ん……出したい時は、遠慮なくていいんだから。

ん、んう、可愛い子は甘やかしていいの。

可愛いだけで、特別なんだから……♪

◆華菜

可愛いからこそ、イタズラしたくなるんじゃないん♪

◆栞

華菜ってほんと、小悪魔だよね～。

◆華菜

そんなことないよね～？

あ、てかそんな余裕ないよね？

シコシコ早いもんね？
出ちゃう？ 出ちゃう？
いいよ～？

とめてあげるから♪
アハハハ♪

◆葉
も～～～～。

◆華菜
でも可愛いじゃん♪
ほら♪ おちんちんチョーひくついてるし♪

◆葉
ダメ！ 出させてあげたいんだから！

◆華菜
ちょっと～！
んう、んう、もっと大人の経験させてあげたいのに～・

◆葉
ふう、ん、んう……この子が経験するのは、
幸せな快感だけでジューブンなの……♪
可愛いんだから……甘やかさないと……♡

◆華菜
んう、ん、葉ってダメな母親になりそう。

◆葉
んう、そんなことないよね？
ん、んう、ボク君だって、葉お姉ちゃん、好きでしょ？

(主人公「う、うん」)

はあん♡ フッフ♪ 嬉しい～♪

んう、んう、ありがと♪
いいよ♪ 出してあげる♪

んく、んうう、ん。
イッて？ 出すよ？
んう、んっ、さあ、出して……っ♡

◆華菜
ふう～～。
出して？ 出して～～♪

(手コキにて射精)

◆栞
はあ～……♡
よかったね～……♡ いっぱい出ちゃった♡

◆華菜
あ～～♡
出たか～……♪ んうう、ん。

焦らした甲斐あったじゃん♪
めっちゃくちゃ気持ちよかったでしょ～♪

(主人公「う、うん……」)

ほら～？
焦らして気持ちいいんだよ！

◆栞
う～……。
私は、焦らしとかあんまり……。

◆華菜
さ、もういいから次いこ次♪
うち来たんだし、もちろんアレしたいでしょ？

=====

●トラック7:ギャルの交互ピストン！耳元でのダブル誘惑

●背景:華菜の部屋(夕方)

(トラック6の続き)

(授乳手コキで射精させた後)

◆華菜

うち、パンパンなおちんちんとやりたいからさ、
栞、先にやんなよ。

◆栞

いいの？

◆華菜

いいよ。うんうん。
こないだはうちが先だったしさ～。

◆栞

ありがと～。
じゃあ——
後ろに倒れて？
お姉ちゃんが跨がって、ボク君を気持ちよくするね？

(栞、騎乗の形で跨がる)

ふふ……ビンビンなちんちん、
入りたくてウズウズしてる？

◆華菜

ちな、華菜お姉ちゃんは横から攻めるよん♪

(華菜、耳舐め開始)

◆葉

よ～し……。

お姉ちゃんも、

密着しながら、しちゃうね♡

んう……んはあ……ん、ちんちん、入れるね？

んはあ～～……♡

(根元まで挿入)

んう！ んっ……ふううう、ん……ツ。

入っちゃった～……♪

んう、元気いっぱいのちんちん、気持ちいいね……♡

ふう、ん、んう、このちんちん、刺激していくよ？

んはあああ……んん、ん。

◆華菜

ふう、ふう、ちゅぷううう、ちゅ……んん、チュツ。

葉お姉ちゃんのおまんこ……ヌルヌルでしょ～？

れろれろ、ちゅ、ちゅん、ちゅ、清楚なふりして、ちゅう、ちゅ、

このお姉ちゃん、彼氏できたことないし、

なのに経験多いんだよ～？

どーいう意味かわかる～？

◆葉

ふう、んんっ、もう、余計なこと言わなくていーから……っ。

んん、んう、ふう、んん、んう、んううツ。

はあ、はあ……ん、んく、ん……ツ、

ボク君の中では、清楚なお姉ちゃんがいいんだから……。

ふう、ん、ん。

◆華菜

れろ、ちゅ、んんむ、ちゅ。

ちな、うちはね？ キミと同じくらいの歳に、

すでに彼氏と経験してる～……♪
ちゅむ、ちゅん、ちゅ、れろ、れろ、ちゅん、ちゅ。
セフレも、パパ活も経験あり……♪
エロい女、好きでしょ～？

◆葉

ん、んう、エロい女はどーでもいいから、
んう、んう、この子に集中してよ。
んん、んっ、そうだ。
ふう、ん、ん、キス、しょっか？
ふう、ふう……。
んむう、ちゅ、んう、ふう、ふう……ツ。

◆華菜

んう、ちゅむ、ちゅう～～っ、ちゅ……。
れろ、れろ……んん、ちゅん、ちゅ……ツ。
ちゅんん、チュツ、おちんちん、どう？

◆葉

ふう、んチュツ、ちゅうう、チュツ！
めっちゃ反応してる～……♡
ふう、んん、ちゅん、ちゅ……ツ、びくんびくんしてて、気持ちいい……♡

◆華菜

いいな～……。
ちゅん、ちゅ……うちも、我慢できないわ……。

(華菜、自慰開始)

んうう、んう。

◆葉

なにしてるの？

◆華菜

オナるの……♡

んんううう……っ！
ふう、ふく、んむ、ちゅ。
オナってるから——

んうう！ んっ、ちゅ、チュツ！
声で、ムラムラさせてあげる～……♡

◆葉：
ふう、ふく、んんむ、ちゅっ、ちゅ。

ふはあ……ん、ん……。
オナニーしちゃったか～……。
ふう、ん、んう、私も、もっともっと……しちゃうね？
はあ、はあ……っ。

んう～～～……。
んん、あっ、うう、ん、んうう……ッ！

◆華菜
んんん、ん……気持ちい……♡
ふう、ん、ん……はあ、んん、ん……。
エロい音……ムラムラするね～♡

◆葉
んん、んッ、ふく、んん、ん、ん。
そっちこそ……ん、ンッ、オナニーに気合い入れすぎ……♡
ふう、んん、ん……う、ん……ッ。

◆華菜
はあ、はあ……んん、ん。
あ～～……イクわ♪
ん、んう、ねえ、葉？ 一緒にいこ……♡

◆葉
んん、うん、ん……ッ。

いいよ～……♡

ん、んう、前にしたし、ん、ん、中出しでいいかな……♡

はあ、はあ……んん、ンツ。

ボク君も、いこ？

はあ、はあツ。

んううツ、ん、中に出して……ツ♡

ふう、ふう、んん、んつ、あんつ、んツ。

欲しいよ♡ ボク君の精液♡

出して♡ 出してえ～～～～♡

◆華菜

んううう、んツ。

はあ、はあ……あ～～♡ やばい♡

んん、んう、ふう、ふう、ん、んうううツ！

イクわ……栞と一緒にイクツ♡

一緒にい……ツ、あああつ、イク～～～～ツ♡

(同時絶頂(栞へ中出し))

◆栞

んう～～～～ツ！

あつ、あああつ、はあ、はあ、中出し、気持ちい……ツ♡

はあ、はあ、んう、ん、んううう……ツ♡

◆華菜

う～～～～～～ツ！

んうう！ ンツ、ふう、んん、ンツ、はあ、はあ……ツ♡

めっちゃイツちゃった……♡ ふう、んん、ん♡

◆栞

ふう、ふう、んん、ん……。

交代、する？

あ、イツたばっかじゃキツいかな？

◆華菜

ううん……。
ふう、ふう、んん……んん、ん……。
欲しいから……交代頼むわ♪

◆栞
了解♪
じゃあ……。

んううう……ツ。
ふうう、ふく……。
交代するね？

(栞、右に移動する)

◆華菜
お言葉に甘えて、ヤツちゃうか～。
んう、しょ……ふうう、ん。
入れるね？
あ～～～～……♡

(根元まで挿入)

あッ♡ はあ、はあ……いいおちんちんだね～……♡
ふう、んん、ん……。
さっそく——

んううう……ツ！
ふう、ふう……んん、んっ！
パンパン、してあげるねー♡

◆栞
んう、ちょっとボーッとしちゃった……。
ボク君のエッチが気持ちよすぎちゃったのかな。

◆華菜
これは、んん、ん、将来有望のおちんちんだわ……♡

んん、んう、ふう、ふう、タフだし、連発できるし、
んん、ンツ、ん、いまのうちにうちのセフレとしてさ、
エリート教育しちゃう？

◆栞

それは……この子次第だよ？

んんう、ん……この子が望むなら、これからもエッチしていいかも……♡

でも、その前に——

れろ、れろ、んん、ちゅ、ちゅうう。

◆華菜

ふう、んん、ん、んんん、ん……。

気持ちいいね～……♡

んんく、んん、ンツ、ふう～……んん、ん……ツ。

そーだ。こっちも舐めよっか？

んう、んう。ダブルで耳舐めるの、サイコーじゃない？

ふう、ふう。

んむううう、ちゅ、ちゅん、チュツ。

◆栞

ふう、んん、ん……。

ちゅんん、ちゅツ、んんむ、ちゅ……はあ、はあ……んん、チュツ。

んんん、ちゅ……んふう、んん、ちゅん、チュツ。

同時に耳舐めなんて、ハーレムって感じだね……♡

ふう、ふう、んんん、チュツ、チュツ！

◆華菜

んんむ、ちゅツ、ふふ、いいでしょー？

れろれろ、ちゅん、チュツ、一気に責めて、ちゅん、ちゅ、

搾りたくなっちゃうけどな～。

◆栞

んむ、ちゅう、チュツ。

もう我慢できないの？

◆華菜

ふうふう、んむ、ちゅ。

うん、我慢できない……♥

ちゅん、チュツ、れろ、はあ、はあ……。

◆栞

なら、んむ、ちゅ、どうする？

ボク君は……イケる？

(主人公「うん」)

◆華菜

んん、ンツ、ちゅ、イケんだ？

なら、一緒にイッてもらっちゃうか♪

んう~~~~ツ！

この調子でツ、はあ、はあ……ツ、

うちも、種付け汁貰っちゃうわ……ツ♥

◆栞

ふう、ふう、んん、ンツ、はあ、はあツ。

イク？ んちゅう、ちゅう、チュツ。

イッて♥ ちゅん、チュツ、華菜お姉ちゃんに、出しちゃお♥

華菜お姉ちゃんね……会えない時も、ボク君の精液欲しいって言ってたよ♥

◆華菜

んんん、んっ、はあ、はあ！

んん、ンツ、ふう、ふう！ イク~~~~ツ。

あ~~~~ツ、んん、んっ！

一緒にイクぞ〜♥

はあ、はあ、んん、ンツ、あああツ、イク……ツ！

イクう~~~~~ツツ！

(同時絶頂(華菜に中出し))

あああああッ♥

あ〜〜ッ、来たッ♥ どくどくするッ♥

んう〜〜〜ッ！ はあ、はあ……ッ！

◆葉

あっ！

出た？ すごいね〜♥

今日、もう3発も出てるよ〜……♥

◆華菜

ふう、ふう……んん、ンツ。

ほんと、ん、んう、いいおちんちん持ってるね〜。

このおちんちんが、これから成長するの……マジ楽しみ……♥

◆葉

もう公園で泣いてた時のボク君はどこにもいないね〜……♥

いまのボク君……立派な男って感じる♪

◆華菜

そうそう……♪

誇っていいよ〜♪ キミの歳で、経験2人とかふつーあり得ないし♪

◆葉

経験だけじゃないよ♪

私達……ボク君のこと、大好きになっちゃった♥

◆華菜

これからもさ、ずっと一緒にいようね♪

ボクだけの女になったげる♪

すごいよ？ 女二人もゲットとか、ふつーあり得ない♪

◆葉

たくさん、エッチしていこうね♪

大好きだよ〜♥

フフフ♥

◆華菜

大好きだぞ〜♡

アハハ♪